

SDS 製品情報データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品等の名称	業務用コゲ・油汚れ洗浄剤 4L AS-4000
製品コード	4-6863-01
会社名	アズワン株式会社
住所	大阪市西区江戸堀2-1-27
担当部門	品質保証部エビデンス管理グループ
電話番号	06-6447-8614
FAX番号	06-6447-8664
緊急連絡電話番号	06-6447-8614
推奨用途	ガンコな油汚れの洗浄、焼肉ロースター用鉄板、焼網の洗浄
使用上の制限	用途以外に使用しない

【2. 危険有害性の要約】

化学品のGHS分類

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分4
急性毒性（経皮）	区分3
急性毒性（吸入：蒸気）	区分3
皮膚腐食性／刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2（呼吸器、肝臓、血液、腎臓、中枢神経）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（呼吸器、血液、中枢神経、）
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 3
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

金属腐食のおそれ
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（全身毒性）
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

[安全対策]：

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
環境への放出を避けること。

[応急措置]：

保護手袋／保護眼鏡／保護衣を着用すること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。
皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。医師の診察／手当を受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

特別な処置が必要であるときは4. 応急措置を参考すること。

漏出物を回収すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名 成分

化学名	CAS	wt. / %
水酸化カリウム	1310-58-3	<5
水酸化ナトリウム	1310-73-2	<5
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	28348-61-0	1.3
エチレングリコールモノブチルエーテル	111-76-2	4.3
2-アミノエタノール	141-43-5	1.3
(1-ヒドロキシエタン-1, 1-ジイル) ジホスホン酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩	-	1
水	7732-18-5	残分

【4. 応急措置】

吸入した場合

直ちに空気の新鮮な場所に移し、速やかに医師の手当てを受ける。
よい場所に避難させ、安静にした後、本品または安全データシート(SDS)を持参して速やかに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

直ちに汚染した衣服、靴及び靴下等を脱がせ、触れた部分に多量の水で最低15分間洗浄する。速やかに医師の手当てを受ける。液が付着した衣服や靴は直ちに脱ぐ。

眼に入った場合

直ちに多量の清浄な水で15分以上洗浄し、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗顔の際、まぶたを指で良く開いて眼の隅々まで水が良く行渡るように洗う。(コンタクトレンズは取り除いて洗浄すること)

飲み込んだ場合

清浄な水で口腔を洗浄し、すぐに吐き出させる。多量の水を飲ませる。

その他

使用中、眼にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、使用をやめてその場から離れ、洗眼、うがいをする。

医師に対する特別な注意事項

SDSを提示し、経過を報告する。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

知見なし

特有の消火方法

通常は燃焼しないが、万一、周辺の状況により燃焼した場合は消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。
多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後よく拭き取る。
多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
大量の場合は、蓋付空容器へ回収する。

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

技術的対策

取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

用途以外には使用しない。他の薬剤・洗浄剤とは混ぜない。

食品が直接触れる箇所を洗浄した後は、湯または水で十分洗い流す。

使用後の容器は水で洗浄処理する。

塗装面への使用は、うすめの液で目立たない部分を試し拭きした上で使用する。

ガラスやホーロー製品には、本品を長時間接触させない。

アルミニウム、銅、真チウ、亜鉛、錫等の金属面および塗装面には使用しない。

換気の良い場所で作業し、ミストの吸入を避ける。

経時的に変色したり、まれに沈殿物を生じることがあるが、性能に問題はない。

	安全取扱注意事項	取扱い後は手をよく洗う。場合によっては目・皮膚・のども洗浄する。、 作業時は、保護眼鏡及び保護手袋、保護マスク等を着用する。 キャップを開けると、液が飛び跳ねることがあるので注意する。 この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしない。
保管	安全な保管条件	密栓した容器に保管する。 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。 他のものと混同しないように保管する。 倒れたり、こぼれたりすることのないような場所に保管する。
	安全な容器包装材料	専用のプラスチック容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

【 8. ばく露防止及び保護措置】

許容濃度等		設定されていない。
保護具	呼吸用保護具	必要に応じてマスクなどを着用
	手の保護具	保護手袋(不浸透性を検討する)
	眼、顔面の保護具	保護眼鏡、ゴーグル等 マスク
	皮膚及び身体の保護具	保護衣

【 9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	液体
色	薄青色～青色透明液体
臭い	溶剤臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100℃近辺
可燃性	なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	なし
引火点	なし
自然発火点	なし
分解温度	情報なし
pH	>13 (25℃)
動粘性率	情報なし
溶解度	情報なし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	約1.04～1.08 (25℃)
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

【10. 安定性及び反応性】

安定性	通常の手扱いは安定。
反応性	アルミ、すず、亜鉛、クロム等の金属と反応して、可燃性の水素ガスを発生する。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	アルミ、すず、亜鉛、クロム金属
危険有害な分解生成物	情報なし

【11. 有害性情報】

急性毒性	
経口	使用原料の加算式判定の結果により区分4
経皮	使用原料の加算式判定の結果により区分3
吸入：蒸気	使用原料の加算式判定の結果により区分3
吸入：ミスト	使用原料の加算式判定の結果により区分4
皮膚腐食性／刺激性	区分 1 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 皮膚を侵し、放置した場合、皮膚の深部に達しやけどとなる。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1 重篤な眼の損傷 結膜や角膜が侵され、発赤、痛みを感じ、失明する可能性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	情報なし
皮膚	区分1
生殖細胞変異原性	区分2

発がん性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分3

【12. 環境影響情報】

生態毒性	水生環境有害性短期（急性）	区分2（水生生物に毒性）
	水生環境有害性長期（慢性）	区分3（長期継続的影響によって水生生物に有害）
残留性・分解性		情報なし
生態蓄積性		情報なし
土壌中の移動性		情報なし
オゾン層への有害性		なし

【13. 廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。

内容物を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。

使い終わった容器は、よく洗ってからリサイクル又は処分する。

【14. 輸送上の注意】

国連番号	1760
品名（国連輸送名）	その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）
国連分類	クラス8 腐食性物質
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	適用法令の定めるところに従う。

【15. 適用法令】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）

該当

水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2）

該当

水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール

皮膚等障害化学物質（則第594条の2）

該当

水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法、化管法）

該当

エチレングリコールモノブチルエーテル、2-アミノエタノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸
（1-ヒドロキシエタン-1,1-ジイル）ジホスホン酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム

毒物及び劇物取締法

該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物（廃アルカリ）

船舶安全法

腐食性物質（危規則第3条 危険物告示別表第1）

航空法

腐食性物質（危規則第3条 危険物告示別表第1）

消防法

該当しない

【16. その他の情報】

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。